

お釈迦さまの足あと (ブッダの生涯) 誕生：ルンビニー

お釈迦さまはヒマラヤ山脈の麓、現在のネパール王国の領土内に位置するルンビニーというところで生まれました。父は釈迦族の国王シュッドドーダナ(パーリ語でスッドーダナ、母はマールヤー(摩耶夫人まやぶんにん)であったと伝えられています。ちなみにお釈迦さまという呼び名は、釈迦族という部族名に由来します。釈迦牟尼(「釈迦族の聖者」の意味)とも、釈尊(「釈迦族の尊者」の意味)とも呼ばれますが、その本名はサンスクリット語でガウタマ・シッタールタといます。お釈迦さまことガウタマ・シッタールタは、母マールヤーがお産のために実家に戻る途中、ルンビニーの園で誕生されたといます。しかしお釈迦様の母マールヤー夫人は、お釈迦さまを

産んで7日後に亡くなったと伝えられます。代わってマールヤー夫人の妹であるマハープラジャーパティーがお釈迦さまの養母となりました。

お釈迦さまの生年月日
お釈迦さまの生存年代は
中村元先生は紀元前463年〜383年の80年と算定しておられます。誕生日4月8日には、各寺院へ花まつりのお祝いをします。



沐浴池の西南角から北東に向けて一望する。奥の青いテントで囲われている建物は修復調査中のマヤ堂であり、さらに左奥にア



ルンビニーを訪れたこと、ここが釈迦牟尼の誕生地であること、ルンビニー村はお釈迦さまの誕生地であることによつて税金を優遇されることなどが刻まれています。

ショーカ王柱が見える。マールヤー堂の西側に立つアショーカー王柱と呼ばれる石柱は、紀元前3世紀(お釈迦様が亡くなって200年後)に生存したアショーカー王(パーリ:アソーカ、阿育王)によつて建てられたものです。マウリヤ王朝第3世の王。アショーカーは武力によつてインドを支配しましたが、後にこれを後悔し、仏教に帰依し、お釈迦さまゆかりの聖地を巡礼しました。その記念に建造したのがアショーカー王石柱であり、ルンビニーの石柱には、ブラーフミー文字という古代文字でアショーカー王が即位 20年の年にル



10キロでインドマールヤー堂

この中で遺跡の調査発掘マールヤー堂の中に仏陀生誕が記されている石碑*があ

りました。

私もさんわで 建てました

日出店

日出町南畑
梶原 政博 様



私はもともと玖珠の出身で、御先祖のお墓は玖珠にあります。こちらに来てかなりの年数になりますが、

年に数回は玖珠にお墓詣りに帰っていました。

しかし、80歳を過ぎた今故郷は遠くなりました。夫婦二人元気なうちに、終活を考えるようになり近場にお墓を建てることにしました。

これであんしんです。子供たちには負担をかけられません。「さんわ」さん、ありがとうございました。



森町店

大分市松岡
M様

広々 新しい墓



私どものお墓は、2箇所にあり、個人墓は30以上あり、累代墓もかなり古くなつており、前から整理して、新しくしたいなあと思つていました。いつも色々な事を相談する方に今回も相談したところ、30あるところは、整理して五輪供養塔を建て、お寺の境内地にあるお墓は新しくしたら宜しかろうと言う事でしたが、時期が悪いということ、今年の10月に出来上がれば一番良からうということ、前から知り合いの「さんわ」さんにすべてお願いしました。前はごちゃごちゃしてお参りがしにくかったのですが、古いものを整理処分したので、墓地が広々し、階段もつけて非常に参りしやすくなりました。先日納骨も済ませこれで安心というところです。「さんわ」さんありがとうございました。

ちょっと物知り 仏教からきた日常語

ばか

東京人にアホウ、関西人にバカと罵(ののし)るほど、相手に与えるショッキングな言葉は少ないだろう。この語は、梵語(ぼんご) mota (漢語で「慕何」「莫迦」等と訳す)から転訛(てんか)したものである。釈尊の教を聞いても理解できず、何が正しいか判断できない愚かなもの。意。ところで「馬鹿」の熟語は、秦の二世皇帝の面前で、献上された鹿を指して馬だと言わせ、自らへの臣下の忠順度を測った権力者、趙高の故事に由来するともいわれている。ともあれ、自らの愚かさに気づかず、権力あるものに阿諛追従(あゆつししよう)して恥じないものこそ、真の「ばか」ということになるであろう。